

～紹介～

第29回 部門賞受賞者



©2010 熊本県くまモン

くまもとストップ温暖化賞 富士フィルム九州株式会社 (菊陽町)

高効率ガスタービン発電機の導入と生産計画の調整で、エネルギー生成にかかるCO2発生量を最小化している。また、生産条件の見直しによる使用エネルギー削減に取り組むとともに、設備を一斉点検し無駄なエネルギーの発生源をなくすなど、社員一丸となった省エネ活動を推進している。直近のCO2排出量は対2013年度比で24%減少しており、その削減効果は非常に大きく先進的な取り組みである。



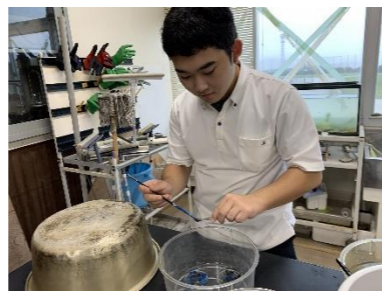
くまもと循環型社会賞 メルシャン株式会社 八代工場 (八代市)

焼酎製造時に発生する焼酎粕を県内の養豚場へ提供している。焼却処理をしていた焼酎粕を地元養豚農家と連携し家畜飼料化することで、CO2排出の低減、養豚農家の飼料コストの低減につながっている。企業や大学との共同研究により、焼酎粕の肉質改善効果について検証を進め、循環型社会形成に大きく貢献している。



くまもと自然共生賞 熊本県立天草拓心高等学校 科学部 (苓北町)

県内において、絶滅危惧Ⅱ類に指定されている海産巻貝カヤノミカニモリについて、産卵時期や幼生から成員になる過程、幼生の飼育法などを研究し、その保全を目的に活動している。研究事例の少ないカヤノミカニモリについて、保全のための活動や地域住民への啓発等を重ねており、本種の貴重さを地域内外に浸透させている。



くまもと環境教育賞 次世代のためにがんばろ会 (八代市)

市民が高い環境意識を持って行動していくことが自然環境を良好な状態で次世代に残すために重要だと考え、青少年育成を重視し、青少年サミットやワークショップの開催をはじめ、資源循環型社会を目指したごみ問題の出前授業、リユース食器の無料貸し出し、生ごみ処理箱の普及など、活動の幅を広げながら充実・発展させている。



第30回 くまもと環境賞

大募集



©2010 熊本県くまモン

令和2年12月7日から令和3年1月15日まで



個人の方、会社や学校、有志の方々による各種団体など、より良い環境を目指して活動されている皆さんの取り組みについて、応募してみませんか。

◎事務局（提出先） 熊本県環境生活部環境局環境立県推進課（新館5階）
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
電話：096-333-2266（FAX：096-383-0314）
メール：kankyourikken@pref.kumamoto.lg.jp

(※1) 各広域本部地域振興局（保健福祉環境部総務企画課）にも御提出いただけます。
(※2) くまもと環境賞（部門賞）の受賞者は、国の大臣表彰などに推薦していくこととしています。

1 趣旨・目的

「くまもと環境賞」は、豊かな環境の保全や創造に係る活動に関して、顕著な功績があった個人や団体、または教育機関や事業者の諸活動を大いに讃えるとともに、その活動等をより多くの県民に広めることで、環境の保全や創造、または生活の豊かさに資することを目的としています。

2 表彰の種類

次のいずれかに該当するもので、他の模範となり推奨できるものであること。

賞	区分	対象となる活動と一例
くまもと環境賞	部門賞	くまもとストップ温暖化賞 ●地球温暖化防止活動で、具体的な温室効果ガスの排出削減に係る活動 (例) エコドライブ、植林、省エネの推進、再生可能エネルギー、省エネや新エネ技術などに関する取組
		くまもと循環型社会賞 ●3R（リユース・リデュース・リサイクル）の推進など、循環型社会の形成に係る活動 (例) バイオマスの導入、廃棄物の3R、熱回収の促進、天然資源の消費抑制、不法投棄防止などに関する取組
		くまもと自然共生賞 ●地域の自然環境を守り、次世代へ継承する活動 (例) 里山や草原などにおいて、地域の自然や希少な動植物の保全や保護などに関する取組
		くまもと水の国賞 ●地下水や川、海に関する水の保全等に係る活動 (例) 川や海などの環境美化または清掃活動、河川上流での植林、地下水の保全や涵養などに関する取組
		くまもと環境教育賞 ●環境教育・学習及び普及啓発に係る活動 (例) 地域や学校、市民や企業などの団体における普及・啓発といった環境教育活動または情報提供、環境教育指導者の育成などに関する取組
		くまもと地域貢献賞 ●多年にわたる地域内での環境を守る活動、地域の水源地の保全、身近な自然環境の再生、環境出前講座などに関する取組
	くまもと永年活動表彰 ●長年にわたる環境の保全・創造に関する活動 ※くまもと環境賞を過去に受賞された個人、団体、教育機関等で、受賞後10年以上継続して環境の保全・創造に関する活動されていることに対する表彰	

※ 上記に選考されなかったものの、特に今後の発展が期待できる者について、別途「くまもと環境賞奨励賞」を表彰します。

3 対象者

活動の功績が顕著である個人や団体、または教育機関や事業者の方々が対象。自薦・他薦は不問。

4 対象となる活動期間

対象となる活動期間は、個人の場合は5年以上、団体・教育機関・事業者の場合は3年以上。

5 評価の内容

- ・くまもと環境賞「部門賞」では、対象となる活動内容に「計画性」、「独自性・先進性」、「具体的効果」がみられ、今後の活動内容において「継続性」、「発展性」が見込まれること。
- ・くまもと環境賞「地域貢献賞」では、対象となる活動内容に「計画性」、「貢献度」、「継続性」がみられること。
- ・くまもと環境賞「永年活動表彰」では、過去にくまもと環境賞を受賞した後も、引き続き環境の保全や創造に取り組んでいること。（10年以上）

6 表彰の時期

令和3年（2021年）6月（環境月間）を予定。

7 応募・推薦の方法

「推薦調書書き方シート」を参考にしながら「くまもと環境賞推薦調書」に必要事項を記載の上、郵便・FAX・電子メールのいずれかで御提出ください。

(※1) 直接、事務局までお持ちいただいても構いません。

(※2) 御応募いただいた推薦調書や参考資料につきましては、返却いたしませんので御了承ください。

8 応募に関するQ&A

Q1 以前に「くまもと環境賞」を受賞しましたが、再び応募はできますか？

再び応募することができます。ただし、「部門賞」及び「地域貢献賞」に関して、受賞した当時と同じ功績では表彰の対象外となります。受賞した当時の功績から、活動を発展させたり新たな活動に取り組んだりするなどの「発展性」があれば、表彰の対象となります。

(※3) 環境大臣表彰など国が行う表彰に関し、受賞の経歴がある場合も同様です。

(※4) 「地域貢献賞」への応募に関しては、すでに部門賞の受賞経験がある場合は対象外です。

Q2 くまもと環境賞「永年活動表彰」のみの応募はできますか？

これまでに、くまもと環境賞を受賞した経歴があり、受賞後も10年以上継続して活動していれば、もちろん応募することができます。

Q3 応募には、「くまもと環境賞推薦調書」に併せて「参考資料」は必要ですか？

審査は、推薦調書をもとに行います。しかし、推薦調書にお書きいただいた活動や功績等を文章のみで説明するよりも、活動写真や会報・チラシなどがあればより分かりやすくお伝えいただけます。ぜひ「参考資料」も併せて御提出ください。

～その他応募等に関するお尋ねがございましたら、お気軽に事務局（熊本県環境立県推進課）まで御連絡ください。～